



◆20世紀を文化で飾る

染錦花鳥文透彫鉢
(佐賀県立九州陶磁文化館所蔵)

●特集

同和問題を考える



主な内容

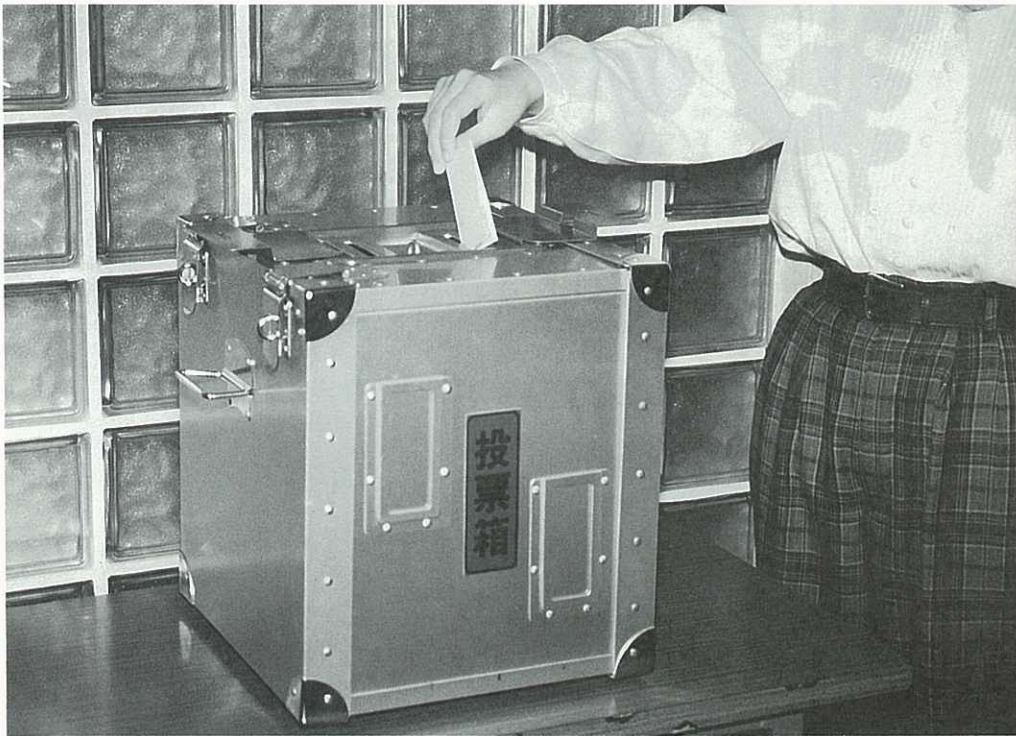
- パブリックインフォメーション……P 2
- 特集 同和問題を考える……P 4
- みんなの広場……P 8
- 文化で町づくり……P 10

- お年寄りと子どものページ……P 12
- スポーツ……P 13
- くらしのチャンネル……P 14
- 伊万里秋祭り……P 16
- お便り……P 18

参議院佐賀県選出議員補欠選挙

投票日 11月19日(日)

「一票が 政治をつくる 未来をつくる」



参議院議員・大塚清次郎氏の死去に伴う補欠選挙が、11月2

日告示、11月19日が投票日と決まりました。今年4月に県知事と県議会議員、市議会議員選挙があり、7月に参議院議員通常選挙があったばかりですが、棄権せずに必ず投票しましょう。

19日に投票所へ行けない人は、不在者投票制度があります。期間は、11月2日から18日までの午前8時30分～午後5時まで、土曜・日曜・祝祭日も投票することができます。不在者投票の場所は、市役所1階の選挙管理委員会または自分の住所がある最寄りの出張所です。

不在者投票には、選挙入場券と印鑑が必要です。忘れないようにしてください。

また、伊万里第2投票所は、牧島公民館から牧島小学校へ変更になっていますので、間違えないようご注意ください。

●問合先 市選挙管理委員会
(☎23) 2111 内線470

グローバル伊万里海外派遣団員決まる

ヨーロッパ3か国を研修

「ふるさと創生人材育成事業」の一つとして、次代の伊万里を担う青年を海外に派遣する「グローバル伊万里海外研修派遣事業」の今年度の派遣団員5人が決まりました。市内のおおむね45歳までの男女を対象に市が広報などで募集していたもので、10人の応募があり、作文や地域での活動状況などを基準に男性4人、女性1人が選ばれました。

今回は、歴史文化財の保護を基礎にしたまちづくりと経済の統合化が進んでいるヨーロッパ諸国で、「都市づくり」「農業振興」「ゴミ対策」の3点をテーマに視察研修を行い、今後の伊万里市の地域づくりに生かす目的で派遣されるものです。

日程は、11月16日から26日までの11日間で、団員はドイツ、フランス、イギリスの3か国を訪問し、ドイツでは朝市や市民農園を視察した後、2日間農家に民泊をしてECの農業や農業振興策を研修することになっています。また、フランスとイギリスで都市づくりの景観保全やゴミ処理対策、リサイクル状況の視察を行うことにしています。

派遣が決まった5人の団員は次のとおりです。



〔海外派遣団員〕(敬称略)
香田 和彦〔42歳〕
(新天町二区・写真前列右)
吉富 和敏〔44歳〕
(二里町中田・前列中)
中尾 良樹〔34歳〕
(山代町久原二区・前列左)
深浦 弘信〔39歳〕
(立花町南ヶ丘・後列右)
前田くみ子〔28歳〕
(二里町作井手・後列中)
堀江 利治〔45歳〕
(本町一丁目・後列左)

上水道事業の決算概要

6884万円の赤字決算

平成6年度の水道事業の決算状況をお知らせします。

水道事業は「安心して飲めるきれいな水」を供給するため、皆さんの水道料金でほとんどの経費をやりくりする独立採算によって経営しています。

平成6年度も、衛生的で安全な水を送り続けるため、安定した給水の確保とサービスの向上を図り、給配水施設の整備や老朽配水管などの改良に重点を置いた諸事業を進めました。

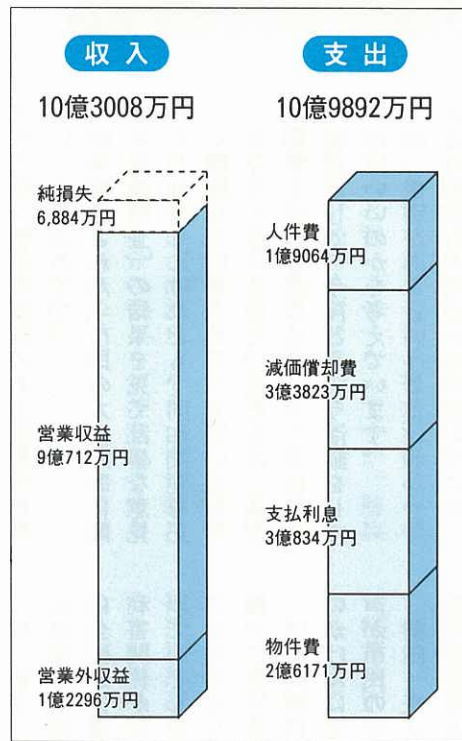
また、公営企業の基本原則に基づき、経済性を追求し経営の健全化を図りましたが、収益的収支は、収入総額10億3008

万円、支出総額10億9892万円で差引き6884万円の赤字決算となりました。

しかしながら、市民の皆さんが快適な生活や経済活動を維持

するのに大切な水を、今後も安定的にしかも安全に供給するためには新たな水資源の開発や施設整備、維持管理などが必要になってきます。

これからも事業経営の合理化を図りながら、皆さんに少しでも安く、おいしい水を飲んでほしいと努力を続けていきます。



秋の火災予防運動 (11/9~15)
災害に備えて日頃の火の用心

11月9日から15日まで、秋の火災予防運動が行われます。運動の重点項目は、①住宅火災の予防 ②店舗、旅館、ホテル等の防火安全確保 ③社会福祉施設、病院等の防火安全確保です。

期間中、市内小・中学生の防火ポスターと消防スケッチ大会の作品を展示(会場:玉屋、ダイエー)し、女性一日消防官や初期消火技術指導会、防火訓練(日時:11月12日、会場:大川町農協一帯)などの行事を通して防火を呼びかけます。さらに運動期間中、午後9時にサイレン・警鐘を鳴らしますので、火の元点検に努めてください。

なお、市内の火災件数は、10月10日現在、47件発生しており、昨年と比べて25件多くなっています。



市内会場は市街地・大川内山・ふるさと村



伊万里市は「世界・焔の博覧会」の観光客を市内に呼び込み、アピールするため、多彩な催しを計画しています。

催しの全体テーマは「食と陶磁文化」で、鍋島藩窯320年の伝統が息づく「伊万里焼」や伊万里牛、伊万里ナシなど「伊万里ブランド」を幅広く紹介し、また「花いっぱい運動」などで観光客を温かく迎えることになっています。

催しを行う市内の会場として、市街地・大川内山・ふるさと村の3会場を設け、各会場では9か月後に迫った本番に向け急ピッチで準備が進められています。今回は各会場ごとの催しについてご紹介します。

市街地では「世界一の大皿」や「世界の子も陶芸祭」など

市街地会場は駅通りとアーケード商店街を中心とする会場で、「世界一の皿」や「世界の子も陶芸祭」「国際アマチュア陶芸展」「食談義」「東洋陶磁学会伊万里大会」「屋台村バザール」「伊万里陶器商人と文化展」

「特産品バザール」など盛りだくさんの催しを計画しています。

特に「世界一の皿」は、大翔会(吉富常彦会長)が製作に取り組んでいる直径2尺4寸、重さ550gの「世界一の皿」を、8月上旬の「どっちゃん祭り」に山車に載せて市街地を練り歩くというもので「どっちゃん祭り」以外は、山車に載せた状態で市街地に展示することになっています。しかしながら、この大皿は今のところ完成しておらず、大翔会では一日も早い完成に向けて日夜の努力を続けています。市民の方々の温かいご支援をお願いします。

「世界の子も陶芸祭」は、世界各国から子どもの陶芸作品や風俗資料を集め、駅通りやアーケードのお店に展示をするものです。商店街はまるでアメリカやヨーロッパ、アジアの雰囲気漂い、子どもからお年寄りまでが楽しめる場になります。この陶芸祭には、すでに25か国からの参加が決まっています。※次回は、その他の市街地会場の催しについてご紹介します。

しじやないか



藤本春美さん
部落解放同盟伊万里支部長

いく部分も出てこにゃならん

同和問題は、市民のみなさんに正しく伝わっているでしょうか。自分の日常生活を振り返ってみて、周りの人を何気なく「差別の目」で見ていることはないですか。その「差別の目」つまり偏見をなくし、相手を素直に見て認め合うことが、差別のない社会をつくる第一歩です。

この座談会は、講演活動などを通して同和問題に取り組まれている九州産業大学の林 力先生と、前田教育長を交えて、被差別部落に住んでいる人、その周辺に住んでいる人の思いを率直に語り合っていたいただきました。みなさんぜひ自分自身の問題として考えてください。

昔は相当な差別がありました

鶴田 わたくしの住んでいる大川町は市内で唯一被差別部落のある純農村地帯といったところです。

昨年実施された「市民の人権問題に関する意識調査」の結果を見て乱暴な意見かもしれないけれども、同和問題を正しく理解している人とそうでない人が半分半分だと思いました。わたしは、多少満足する部分もありますが、この結果を反省点として、今後どういう活動をしていけばいいのかを考えています。

林 差別があるという事はわかっていなければならないということ。要するにわたしのことではないということ意識に問題があると思うんですね。ですから、あなたにもわたしにも関係があるんですよということ、どう啓発してわかってもらうかが課題でしょうね。

鶴田 わたしたちの若いころは、村社会で相当な差別がありました。町民の意識というのは、今までの啓発などによって、差別していけないことはわかっていくという部分もありますが、何回も何回

も加害者であると言われると、もうよろしゅうございませうというふうになっっているのではないですかね。

林 普通、差別意識が強いのは、被差別部落に隣接しているところです。これは全国的に言えることですね。一般的に利害関係が深いので、差別意識が強くなっていくんですね。そのことをどのようにとほぐしていくのかという大きな問題がございます。

同和問題に対する取り組みは、もういいかげんにやめたほうがいい、そういう声が市民の中からありますか。

前田 表立ってはないと思います。お互い雑談などであることは聞いていますが、行政に直接というのはありません。ただ、意識調査の意見にはありますね。

赤信号みんなで渡れば怖くない

鶴田 町民の意識から、一度に部落差別をなくす方向にもっていくのは難しく思うと思います。もの考えかたというのはずいぶん変わっていますが、まだ村社会では全体主義というか、そういう考えが強いんです。個人の主張も結局、そ

の中に組み入れられてしまうんです。わたしは養子ですが、前から住んでいた人の言わすことに口出しするといけって言われてたんですね(笑)。



同じ人間どう

もういっしょに手をつないでやって



鶴田 充さん
大川町社会同和教育推進協議会会長

林 赤信号みんなで渡れば怖くないという、ちよつと反対をしたりすると異端者に仕上げられてしまう、まだまだそういう社会意識が強いんでしょうね。

鶴田 新たに部落に入ってからられる人たちに對しても、よそ者といった差別意識がございますね。そのよそ者意識にも一つ被差別部落があるんですよ。

林 よそ者意識というのは後れた意識ですけれども、日本中どこでもまだまだあるわけで、農村社会などでは特に強いと思います。抑圧の強い被差別部落の中ではもつと強いんじゃないですか。解放への自覚が強ければ別ですけど。

藤本 徐々に自覚が強くなっているところですよ。うちの部落のお嫁さんたちは、大半が被差別部落外からですが、教育の場で差別事象が出たら、そういう母親たちが、なぜ自分の子どもが差別を受けなければならぬのか。だったらその差別を、だれが止めなければいけないのか。「親だ自分たちだ」ということで今、目覚めてきています。それをわたしは大変うれいしことだと思っています。

林 それは本当にうれいしことですよ。鶴田 最近の農業情勢を見てみると、以前よりも悪くなっていると思うんです。農家の人たちの中には、はた目から見れば昔と全く違わないように見えるけれども、本当は大変生計がきつい人もおられるようです。

藤本 わたしたちの部落の人たちの生活状態も、以前と比べると少しづつよくなっています。別が残っていますし、まだまだ不安定な職業が多いということもあって、本当は苦しい面もあります。

林 例えば、高級車に被差別部落でない人が乗っていたらね「いいなあ」だけで終わるんです。ところが、同じ車に被差別部落の人が乗っていたら「被差別部落の人間が、差別とかなんかいいながら、なんていい車に乗っている」となるんです。そこが差別だということをおわかってほしいものです。

部落差別はどこで、だれから生まれたかということの問題にする差別。会ったこともないのに人のうわさなどによって偏った見方をしている。違うとか、汚れているとか、怖いとか思い込んでいます。被差別部落の経済生活が若干上がってきたり、例外としてもととと経済的な余裕のある人を見ると、今度はそれが気になっ

てくるんですよ。それが実は差別なんだけどもね。なかなかわからないですね。そのあたりが同和問題の本質でしょう。



ね。いずれにしても、鶴田さんのところが、その矛盾がハッキリ見えるみたいですね。それは非常に重要なことだと思います。

子どもに誇りを持たせない

鶴田 そうですね。やっぱり、最後になると「あそこに生まれんでよかった」という部分が出てくるんですよ。

林 だから学校教育では、周りの子どもたちが「ああ、おれたちも被差別部落に生まれればよかったね」と思うような授業があるべきです。そうしないと、被差別部落の子どもは誇りを持たないし、差別はなくならないでしょうね。

地域での交流を通して

前田 いろんな行事をいっしょになっ

てやっていくことが理想の姿ですが。鶴田 やっています。みんなに積極的に参加してもらおうということで。体育大会が一番大きい行事でしょうね。

林 そのとき違和感はありませんか。藤本 町民のみなさんにも差別意識があると思うし、まだ差別されるのが怖いというふうな感じがあって、進んで参加していくのが難しいところもありますね。

しかし、いろんな行事にどんどん参加しながら、地域のみなさんとの交流を通して、差別意識をなくしていただくというのをやらなければいけないと考えています。今、考えているのは、町の行事の中でも青年が交流しているソフトボールです。まずは町から交流を通して同和問題をなくしていこう、差別をなくして

いこうと言っています。

また、啓発などをやるのに、それぞれの町にはいろんな事情とか背景があるので、その地域に密着した啓発というのが一番大事だと思うんですね。その中で、わたしたちも協力していくことを惜しまずにやっていきたいと思っています。

前田 これまでの研修会はどこらかといえど同和問題だけに偏ってほかの問題と差別を切り離したような研修にウエイトがかかっていたように思います。

やはり、いろんな人権を通して同和問題への認識を深めるような同和問題と人権問題を一体化した研修を工夫していかなければならぬと思います。

林 同和問題を支えている意識と、日常生活の中の差別意識を関連づけて取り組んでいくことが大事だと思いますね。

前田 そうですね。差別は自分には関係ないことだという意識が確かにあるのではないかと思います。ところが、実際は関係ないどころか、日常生活の中に自分の意識の問題としてかわわっていること。そういう面から意識を変えていくような教育啓発が大事でしょうね。

また、もともと研修は間違った考え方を正していくためにやるんだという意識を持って、何でも言える雰囲気での研修会にすることが大事だと思います。

子育てに迷っているお母さん

鶴田 現在の研修会は形ばかりになっているというか、役員の研修会になって、市民には広がっていないと思うんですね。やっぱり、初めのころに行ったように部



前田 和茂さん
伊万里市教育委員会教育長

落を巡回することも必要で、啓発や話し合いの方法を考えていかななくてはいけないのは事実ですね。

林 役員の研修会に終わってしまっているわけですね。

わたしは、福岡市のPTAの研修に年何十回と出るんですけども、今のお母さん方は子育てに迷っているんです。

いじめがあつたり体罰があつたり、いろんな差別があつてどうもおかしいと思いが一方では、偏差値を上げて有名高校、有名大学へと思いつ込んで来た。これでいいのかもしれないながら、時代の波に流

されているんです。そういうお母さんたちが持っている疑問とか矛盾と差別の問題を結びながら問題提起をしていくんです。すると一生懸命になって聞かれるんですよ。現代社会のいろんな矛盾と部落問題がどうかかわるかということ

をききつつと押さえながら研修を組織化していくと、受け止めてくれるんですね。そういう啓発のできる人たちをどうやって養成するかというのは緊急の課題かもしれ

ませんね。

藤本 いろんな学校で同和問題に取り組まれる中で、子どもたちから差別事象が出てきたときは、私たちと学校といっしょに考えていきましようと言っているんで、それを一つひとつ問題にするということはありません。

前田 今度、差別事象が起こったわけですけれども、より以上に同和教育に真剣に取り組むよう教師の意識をどう変えていくか、ということが課題だと思っ

たんですね。同和教育は教師の指導力や資質の問題を特に感じますね。

同和教育は、実は人権にかかわる教育で、人間の生き方に関する教育だ、これを抜きにしては、ほかの教育も十分にはできないんだという認識をもつと持ってもらう必要があります。

全員の教師がより真剣に取り組むようにするためには、同和教育の研究会のときだけではなく、例えば、職員室で休み時間の立ち話であっても、常に問題意識を持って意見を交わすというような空気

「部落」とは差別用語ですか？

「部落」という言葉は、多くの市町村で現に使われている言葉で、差別用語ではありません。「部落」とは比較的少数の家を構成要素とする地縁団体、共同体としてまとまりをもった民家の群れ。(広辞苑)という意味です。

山形国体の開催にあたって、一般的な地区のことを「部落」と言うことで、被差別部落と間違われかねないということ、違った名称に変更してはどうかという意見があつたようですが、そのことを考えること自体が差別心の表れであるということ、今も「部落」という言葉は行政を行うための一番小さい単位として使われています。

本市や佐賀県内の市町村においても、多くの人たちが自分の住んでいる地区を「うちの部落」と言っておられますが、おかしいことではありません。

今回の広報では、座談会の内容を正確にお伝えるために同和地区を「被差別部落」と記述しました。

を作ってくださいというお願いをしているところです。



また、学校教育と社会教育の連携を層深めていくことも大事だと思います。

お互いに理解し助け合って

藤本 糾弾学習会のことですが、わたしたちも立ち上がって訴えていかなければならないという気持は持っています。しかし、糾弾というものがほかの人たちに十分理解されていないわけです。昔の糾弾会のように、差別した本人に対して深く追求するという糾弾と全然違います。が、やっぱり、あそこは集団でやってきたってことしか思われぬ。それで、わたしも、やっていきたいと思う反面、いろいろと考えさせられることもありま

すね。
鶴田 もうある程度お互いに助け合ってね、交流を深めてやっていく部分がある。出てこいながら時代だと思います。内容が同じならば、糾弾の名前を取った学習会とするほうがいいと思いますよ。



林 力さん
九州産業大学経済学部教授



藤本 糾弾というのは解放運動の柱でもあるわけです。

鶴田 大方の人は糾弾学習会に参加して、勉強していこうかという姿勢がないんです。結局、3時間か4時間か座って、じっとしとけば風が通っていくという考えですよ。確かに糾弾というのは、あなたたちにとつて生命線かもしれない。しかし、そういう人たちが多ければ、型にとられず変えていくことも必要じゃないでしょうか。目的は部落差別をなくすことでしょうか。とするならば、やっぱり糾弾の名前を取ってほしいと思います。被差別部落外の人たちは、役目上の参加になつてしまっているんですよ。
藤本 わたしは、糾弾学習会については、もう少し対話というか、もう少し意見交換の場を増やして、現場の人の声を聞けるようにしたほうがいいんじゃないかなと思うんですよ。

差別のない社会をつくる

林 わたしは、糾弾があつたからこそ法律もできたし、それぞれの役所も同和对策の部局も作つてここまで来た

と思うんですね。糾弾ということは、ある意味で差別社会の犠牲者である差別をした人間も、差別をされた人間といっしょになつて、差別のない社会をつくつていくという道筋なんです。糾弾学習会をどう展開していくかということは、中身の問題なんです。時代の流れによってやり方が変わるといふことは、部落差別をなくすことが目的であり、仲間を作ることが目的であることをみれば、当然なんですけどもね。

藤本 糾弾を除いた学習会だったら、いつでもいろんな論議ができるはずだと思います。だから、糾弾という意味が差別されてもじつと我慢しているわたしたちのどうしようもない心からの叫びだ、ということをもう少しみなさんに理解してほしいなと思います。

鶴田 以前は差別した者の中に、糾弾によつて大変苦しんだ人もおられたんですよ。それが、底に沈んでしまつて流れている。もう見ざる言わざる聞かざるというふうですね。だから、もつとお互いに手を握りあつて明るい問題としてできないかなあと思うんですよ。

ふたをすれば陰湿になる差別

藤本 誤解してもらいたくないのは、「してやるけん、聞いてやるけん、我慢しとけ」とも聞かれても困るんですよ。

林 差別に満ちた社会の中で加害者の側に回つてしまつていくわたしたちも同じ人間として解放されていくということなんです。

ところで、こんな取り組みをしていけばね、今まで隠れていたものが表に出てくる可能性は増えるということです。取り組まないで、ふたをしておけばむしろ陰湿になつて出てこないんですよ。

前田 確かに県内の差別事象をみれば、同和教育に熱心だといわれている学校で起きています。それは、やってるから当然出てくるんだという言い逃れにはなりません。同和教育のあり方なり、教師の指導力なりというようなものを見直すひとつの契機にするという考え方でいきたいと思つています。

今日は、お忙しい中、大変ありがとうございました。

(紙面の都合上、内容の一部を割愛しました)

12月4日から10日は「人権週間」です

市では「同和问题講演会」を開催します。多数のみなさんのご来場をお待ちしています。

- 講師 丘乃れいさん
- 日時 12月8日(金曜日)
午後1時30分開演
- 会場 迎賓館(新天町)
- 入場料 無料



丘乃れいさん

高校時代から演劇に魅せられ、結婚後シナリオを学ぶ。現在、映画のシナリオ作家、また、講演活動で活躍中です。

みんなの広場

このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や話題を待っています。市役所広報係へご連絡ください。(☎23111内線207)



●伊万里の秋、満喫。農業体験スクール(9月30日)

農業後継者の実行委員会(福田正委員長)は、福岡市内のO.Lなど若い女性26人を招き体験スクールを開催。これは交流や農業体験を通し、農業や農村、農業青年と親しみを深めるとともに地場農産物のPRを目的として1泊2日の日程で行われた。初日は梨園などを見学、その後バーベキューでひとときを過ごしました。2日目は大川内山で農業について意見交換し、参加者の女性から「時間がなく話し足りなかった」などの意見が出ました。

●“道の駅伊万里”ふるさと村にオープンしました(10月2日)

南波多町の国道202号線沿いにある「伊万里ふるさと村」(山口二己村長)が、建設省登録の“道の駅伊万里”として開駅しました。県内では鹿島市、厳木町に続き3か所目で、ドライバーの休憩施設として、都市と農村との交流を深め地域の情報を発信します。



●交通事故をなくそう!交通安全コンテスト(10月1日)

市交通対策協議会主催の「母と子の交通安全コンテスト」が、伊万里自動車学校で開かれました。各町から24組48人が参加して、親子で自動車学校に1日入学。安全運転テストや講習によって、自動車と自転車の正しい運転方法や交通安全のルールを再認識しました。

●ミャンマーの高僧が伊万里を訪問(10月5日)

ミャンマーの高僧ら60人が、伊万里を訪れました。一行は福岡県篠栗町に完成したねはん像の開眼供養のために来日したもので、市内の仏教関係者が中心となり設立したアジア仏教徒協会の招きで来伊。市を表敬訪問し、上下水道の説明を受け下水道施設の見学をしました。



●ちびっこ画家が消防本部に大集合(10月10日)
火災予防運動の一環として、消防スケッチ大会が市消防本部で開かれました。小学生のちびっこ画家58人が、グラウンドに置かれた救急車やはしご車などをじっくり観察し、画用紙いっぱいには絵筆を走らせました。消防署員もびっくりする力作が出来上がりました。

わが家のアルバム



★善文・美穂さんの長女
★立花町南ヶ丘

南里 優純 ちゃん
ちゅんずみ
(2歳 3か月)

テレビの「おかあさんと一緒」に出てくるミドちゃんとフアドちゃんを見ながら、歌ったり、踊ったりするのが上手なの。好きな食べ物、納豆とお刺身、トロとエビかな。お家でママやおばあちゃんと一緒にお医者さんごっこをして遊ぶのよ。診察するお医者さんの役は、もちろんわたしがやっています。



病気をせずに、元気な子に育ってほしい。名前のように、純粋でやさしい女の子になってちょうだいね。

ほほえ美さん



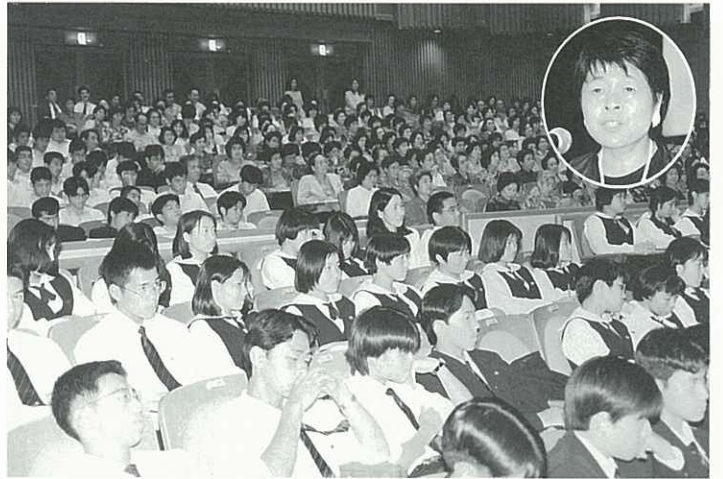
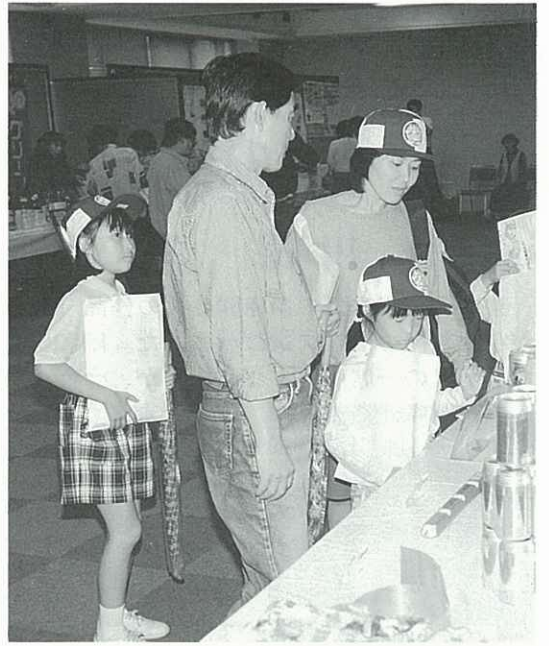
★二里町川東(魚座・A型)

木場 智子 さん
きばともこ
(18歳)

高校を卒業し4月から(株)奈雅井に勤務している智子さん。仕事は輸入貨物の通関手続きで、税関へ行ったり来たりを毎日過ごしています。英語で書かれた通関書類を最初に見たときは、たいへん驚いたそうです。

9月25日に海難防止運動の一環として、一日海上保安官を務めました。伊万里湾を船から見るのは初めてで、巡視艇から湾内の船にマイクを使って呼びかけたり、船の操縦も体験しました。「船長さんになった気分でした。楽しかった。また、仕事から海に関係しているのが貴重な体験でした」と話してくれました。

①学びました「ごみの減量化とリサイクル」(10月1日)
環境衛生週間にちなみ「ごみゼロフェア'95」が市民センターで行われました。ごみの減量化やリサイクルの意識を高めるために、環境問題の講演や空き缶の回収実演、リサイクルについての各種展示があり、親子連れなどで訪れた来場者は熱心に見学していました。



①女性文化教養講座(公開講演)に高校生も参加(9月29日)
『アバンセ』館長の船橋邦子さんを講師に迎え、女性文化教養講座が開かれました。講座には伊商高校と敬徳高校の生徒も参加し、船橋館長は思いがけない参加者にびっくり。自分自身の体験を通し、男女が尊敬し協力し合う社会を築こうと情熱的な講演をしました。



①手さばき鮮やか「畳表替え」に向陽園を慰問(9月23日)
県畳工業組合伊万里西松浦支部(平川謙太郎支部長、15人)は、養護老人ホーム「伊万里向陽園」(成富正昭園長、100人)で畳表替えのボランティアを行いました。昔ながらの手縫いで大広間の畳35枚を丹念に表替え。きれいになった畳に入園者のお年寄りは大喜びしました。

「図書館フレンズいまり」が発足

図書館を守り育てたい

今年の7月にオープンした市民図書館を支援するボランティア組織「図書館フレンズいまり」の設立総会が9月21日、市民図書館で開かれました。

市内の母親たちを中心に、市民図書館の建設前から支援してきた「図書館づくりをすすめる会」が、市内のボランティア団体などに呼びかけ、205人の会員が集まりました。

朗読ボランティアをはじめ、返却本の整理や新着本の装備、書架の整とん、庭園清掃など

の奉仕活動のほか、図書館の運営も行政まかせにならないように市民の意見を反映させながら提言するようにしています。

また、将来的には、昨年の海外研修でアメリカの図書館ボランティアの実情を勉強してきた会員5人の体験を生かし、借りたい本を入れるバッグなどグッズ販売や図書館が廃棄した本をバザーで売り、その売上金を図書館に寄付するなどアメリカ方式にも取り組んでいくそうです。設立総会には60人の会員が参



加して代表に岡田政昭さんを選出、当面の活動として、図書館の利用を促進するため、PRしていくことを決めました。

県文学賞の一席を受賞

小説の部 川原 巽さん(東山代町)

東山代町川内野の川原巽さんの作品「永眠儀式」が小説部門の一席に選ばれました。昭和62年に続いて2回目の一席受賞となりますが、今回の作品は、



3年半前に亡くなった奥さんの通夜から葬儀までを題材に描かれた力作です。川原さんは、執筆の動機を「私のわがままな性格に苦勞しながら、56年間連れ添ってくれた亡き妻を慰めるために書きました」と静かに語ってくれました。

随想の部 末次 艶子さん(二里町)

随想部門の一席に二里町川東の末次艶子さんの作品「荷師(追憶の父)」が選ばれました。「伊万里焼が割れないよう、ていねいに荷造りをしていた父親



の仕事ぶりは長年温めてきた題材で、普段のように、筆の進む早朝に書き上げました。一席入賞の通知を受け取ったとき、私はびっくりして手がふるえ、主人と一緒に喜びを分かちあいました」と受賞の感激を話してくれました。

郷土の史跡シリーズ⑧

茅ノ谷1号窯跡

〜李参平にゆかりの古唐津の窯跡〜

松浦町藤川内地区に古唐津の窯跡があります。段々畑になっていますが、窯体や陶器のかげらが落ちていっているのを観察することができます。

昭和58年(1983)の調査で、丘陵の斜面に南西から北東方向へ窯が築かれていたことがわかりました。窯は連房式登窯で、水平全長は52メートルです。

「葉隠聞書」という本によると茅ノ谷窯跡群は、日本の磁器の創始者といわれている李参平が磁器を焼きはじめた以前に陶器を焼いた窯の可能性が高く、肥前陶磁の歴史を解明するうえで貴重です。昭和62年(1987)に佐賀県史跡に指定されています。

塗り壁造りの焼成室が22室あり、室の大きさは窯の途中で幅2・7メートル、奥行き2・4メートルです。物原(焼き損ないを捨てた場所)は西側にあります。操業時期は、16世紀の終わりから17世紀の初め、朝鮮唐津・備前唐津の徳利のほか、青唐津・絵唐津・斑唐津の碗や花立、ぐい呑などを焼いて



府招浮立
あでやかな衣装で道行き



府招浮立は、地区の氏神愛宕権現社の祭典に、五穀豊穡を感謝して毎年10月10日に奉納されています。

佐賀県を代表する舞浮立ということで昭和43年から県の重要無形民俗文化財に指定されています。

当日は、正午ごろからあでやかな衣装を身につけた地元の青年男女や猿の格好をした子どもたちが、出発地の府招上公民館に集まりました。道行きは午後2時ごろから始まり、金色の稲穂が輝く農道を愛宕権現社まで華麗な舞を披露しながら厳かに進みました。また、神社に到着してからは、猿廻しや銭太鼓などが奉納され、県内外から訪れた観客を魅了しました。

波多津漁港まつり
「海の幸」塩焼きに舌鼓

波多津町浦の波多津漁港で、10月15日、第2回の漁港まつりが開かれました。まつりは、鯛の山笠巡行や地元漁船による海上パレード、魚介類の物産展、女相撲甚句、カラオケ大会など多彩な催しが行われました。

特に、新鮮な魚介類を使ったバーベキュー大会は、家族連れで訪れた人たちの人気を集め、5,000人の人出で終日にぎわいました。

また、伊万里シーカヤッククラブ（高森晋代表、30人）が今年初めて企画したシーカヤックレース大会も行われ、市内をはじめ、佐世保、熊本、福岡から44艇が出走、いろは島を一周する10キロのコースでタイムを競いました。



しめ縄切り（桃川諏訪神社）
刃をつぶした鎌で悪戦苦闘



松浦町と武雄市若木町との境の鹿路峠にある乳道祖神社の神前で10月22日、「しめ縄切り」の神事が行われました。松浦町桃川地区内の五穀豊穡と無病息災を感謝して行われるもので、午後5時ごろ、若木方面から神社の前を通る男性にしめ縄を切ってもらう習わしになっています。今年の大役を務めたのは、下宿先の杵島郡白石町から、市内相生町にある実家へ帰宅途中だった教員の多久島一仁さんでした。多久島さんは、刃をつぶしてある鎌を手渡され、直径25センチもあるしめ縄を切るのに悪戦苦闘。地元の人たちの声援を受けながら、25分かかって切断し、今年の行事は無事終わりました。

市民からの意見を聞いて④

みんなで
考えよう
同和教育
No.101

「そつとしておけば部落差別は、なくなるのだから、寝た子をおこすようなことはしないほうがいい」

今年、同和对策審議会答申が出されて30年になります。

この答申のなかで、国民の一人ひとりが、同和問題は自分自身の問題として考え自覚することが大切であり、国民的課題であるとうたわれています。

「同和問題は、社会が進歩すると共に、自然に解消すると思ふ」という人がいます。これは、現実の差別問題を避けて通ろうとする姿勢だといえます。

これまでもあらゆる場で、人権の大切さが叫ばれてきたにもかかわらず、まだ現実には就職差別や結婚差別などで苦しんでいる人がいます。

このコーナーは、隔月のシリーズで掲載しています。これを手がかりに、家庭で同和教育について話し合ってみましょう

「そつとしておけば、時の流れと共に自然になくなる、騒ぎたてない方がよい」この考え方は、同和問題の解決に少しも役に立たないだけでなく、逆に人権意識を眠らせ、偏見を生むなど、結果的に差別の助長に手を貸すようなことになってしまいます。

また、今は関係ないと思っただけでも、学習を積みながら正しく理解しないと、身内の結婚問題や就職などのときに心の中に潜んでいる偏見が顔を出して人を傷つけることになります。人の心の中に潜んでいる差別意識は根深く、そつとしていて差別がなくなるはずはありません。同和問題を正しく理解することにより、人間の尊厳、人権の大切さを知り、二十一世紀に差別のない明るい社会を築くために差別をしない、させない人になりましょう。

同和・人権問題についての
意見や質問をお寄せください
848 伊万里市立花台1-1-1
伊万里市教育委員会
生涯学習課まで

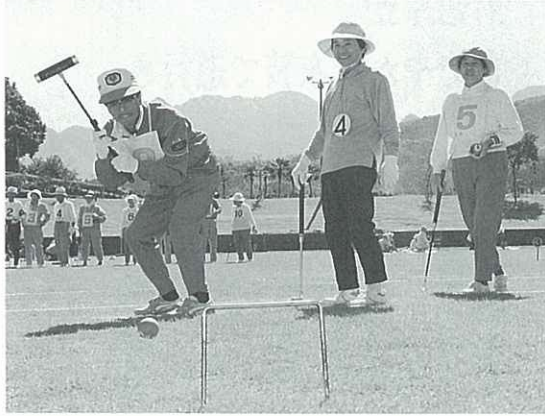
(☎23)2111内線461

お年寄りと 子どもの ページ

市民ゲートボール大会

元気はつらつ ハッスルプレー続出

第8回市長杯争奪市民ゲートボール大会が、10月19日、20日に国見台陸上競技場で行われました。秋晴れの好天に恵まれ、市内各地の老人クラブから101チーム、700人が参加しました。この大会は、長寿社会を



迎える今日、ゲートボールを通して相互の親睦と融和、健康づくりを目的に開かれたものです。開会式では、東山代町里の小宮伊作さん（93歳）ら90歳以上の選手14人に特別賞の記念メダルが授与され、そして東山代町長浜の石丸 巽さんが力強く選手宣誓をした後、試合が開始されました。

午前9時20分から試合が始まりましたが、朝6時半から会場に来て、練習していたというおじいちゃん、おばあちゃんも見られ、熱心さがうかがわれました。試合になるとハッスルプレーが至るところで続出。たくさんの声援と審判の声が飛び交い、元気な姿を見せてくれました。



四季の詩

ひんやりと落葉ふみゆく秋の山
萩七色の露をこぼして
下土井町 友 廣 竹 子
ふるさとの富士真向に帰り花
立花台二丁目 林 雨 滴



波多津東幼稚園のいもほり

大きなおイモがとれました

波多津東幼稚園（丸田光也園長、22人）は、10月18日に芋掘りをしました。この行事は毎年筒井老人クラブの協力を得て、畑に芋をさし、草むしりも園児と老人クラブで行ってきました。そして待ちに待った収穫を迎えることができました。

当日は、幼稚園から収穫するお芋畑までお弁当と水筒をもつての遠足です。畑に着いて右手にシャベル、左手にバケツや手提げ袋を持ちながら畑のお芋を掘ると、土の中から大きなお芋が顔を出し、園児たちは大喜びの様子でした。

なかよし運動会

みんな仲良く元気良く

伊万里市西松浦郡特殊教育研究会（松本昌倫会長）や手をつなぐ親の会などの主催する、なかよし運動会が、10月22日、立花小学校グラウンドで開かれました。各小中学校のなかよし学級や養護学校などのハンディキャップを持つ児童生徒180

人を中心に家族や友だち、ボランティアなどが参加して行われ、児童生徒の100メートル走やレク競走、玉入れなどの競技に大きな声援が送られていました。応援に駆けつけた一般の人も競技やレクレーションに加わり、運動会を楽しく過ごしました。





第27回伊万里市小学校陸上運動大会が、10月15日、国見台陸上競技場で行われました。17小学校から631人が参加、1000メートルなど6種目で競いました。6年生の優勝者は次のとおり。

市内小学校陸上運動大会 坂口選手 60メートルで大会タイ記録

【男子の部】

▽100メートル 高見昭至(立花)

▽60メートル 坂口 潤(黒川) 9秒7大会タイ▽4×100

0メートル 馬場、吉田、福井

山田(伊万里)▽持久走 坂口

剛治(黒川)▽走り幅跳び 奥

野直樹(立花)▽走り高跳び

早川健一郎(山代東)▽ソフト

ボール投げ 川口正泰(大川)

【女子の部】

▽100メートル 松尾麻衣子(山

代東)▽60メートル 井手絵

里子(南波多)▽4×100

リレー 福田、西田、浦川、坂

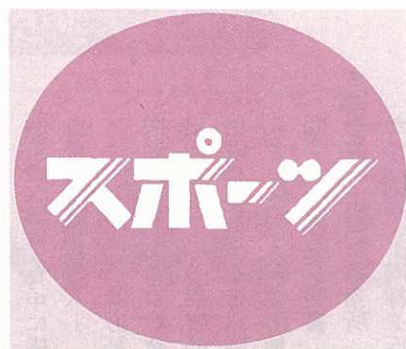
本(東山代)▽持久走 福田千

尋(東山代)▽走り幅跳び 福

田千尋(東山代)▽走り高跳び

長野真子(黒川)▽ソフトボ

ール投げ 古川三沙子(伊万里)



国見台陸上競技カーニバル(10/10)

11月の町民スポーツ

5日(日)

- 黒川町内一周駅伝競走大会
9時 立目～黒川公民館コース
- 東山代町内駅伝大会
13時半 緑が丘～脇野コース
- 山代町民バレーボール大会
8時半 山代中学校
- 伊万里町球技大会
9時 伊万里小学校
- 大川内町民ゲートボール大会
8時 大川内小学校
- 南波多町グラウンドゴルフ大会
8時 南波多中学校
- 松浦町内一周駅伝競走大会
13時 松浦町内コース
- 波多津町内一周駅伝競走大会
12時半 波多津町内コース

12日(日)

- 南波多町内一周駅伝競走大会
8時半 南波多町内コース
- 大川内町内一周駅伝大会
9時 大川内町内コース

23日(木)

- 大川町内一周駅伝大会
9時 大川町内コース

11月26日号砲 市内一周駅伝大会

- 各地区の通過予定時刻
- ◇浦の崎スタート(10:00)～
東山代(10:25)～相生橋(10:45)
- ◇相生橋(10:50再スタート)～
木須東(11:00)～黒川(11:25)
- ◇黒川(11:30再スタート)～
波多津(11:55)～南波多(12:35)
- ◇南波多(13:30再スタート)～
大川(13:50)～松浦(14:10)～
伊万里市役所ゴール(14:40)
- 問合先 市体育保健課
(☎23)2111内線464)

会長杯バレーボール



第11回会長杯争奪バレーボール大会が、10月15日に国見台体育館で行われました。これは市内にある社会人クラブの大会で、男子4チーム、女子10チームのトーナメント戦で争われました。

【男子の部】

優勝 伊万里クラブA

準優勝 伊万里クラブB

【女子の部】

優勝 伊万里クラブ

準優勝 サクラ

3位 立花クラブ

南波多クラブ

伊万里・西松浦 中学校駅伝競走大会 国見中学校 アベック優勝飾る

中学校駅伝競走大会が、10月13日、秋晴れのなか国見台陸上競技場周辺コースで行われました。男子14チーム、女子13チームが参加し、男子は30分8区間、女子は12分5区間で競われました。

女子の国見中Aは、5人全員が区間賞という力走で完全優勝に輝きました。

男子の国見中も他チームに大差をつけ優勝しました。

【男子の部】

①国見中A(1時間40分47秒)

②伊万里中A ③啓成中

④南波多中 ⑤波多津中

【区間賞】1区岩永暁如 2区

横田直矢 3区斉藤裕樹 4

区西浦雄一郎 5区川島 剛

6区田富幸博 7区下平正康



8区立石裕貴

【女子の部】

①国見中A(44分40秒)

②東陵中 ③西有田中

④伊万里中A ⑤国見中B

【区間賞】1区高木加那子 2

区田中聖子 3区力武奈津子

4区日浦理絵 5区西岡亜希子

お知らせ

保育園の入園受付

平成8年度の保育園の入園受付を行います。

- 入園要件 保護者が仕事や病気などのため、家庭で十分な保育ができない幼児
- 受付期間 11月24日～12月6日
- 提出書類(希望保育園に提出)
 - ①申請書(保育園にあります)
 - ②住民票謄本(続柄)
 - ③関係書類
- お勤めの人ー平成7年分の源泉徴収票または勤務証明書(源泉徴収票は1月中に提出)
- 自営業、農業の人ー

就労証明書

- 病気の人ー医師の診断書等
- 出産の人ー母子手帳の写し
- 平成7年1月2日以降に転入された人ー前住所地の平成7年度課税証明書

●問合せ 市福祉事務所
(☎232111内線258)

あなたの声を!



11月1日から市役所の正面ロビーに、提案箱『伊万里っ子ポスト』を設置しました。伊万里市のまちづくりについてあなたのアイデア、ご提案をお寄せください。また、市役所窓口サービスなどへのご要望、ご意見もお聞かせください。

ことばの通級教室

発音、話し方、聞こえ方などに問題を持つていたり、ことばから起こる心の問題や悩みなどを改善していく教室です。

発音の自然治療は、ほぼ5歳過ぎまでで、それ以後は構音訓練が必要とされています。ことばの教室では、情報提供や教育相談を随時行っています。

学校適応指導教室

「学校へ行きたいのにいけない」「友だちのなかに入れない」このような児童生徒に、個別または小集団で相談や指導を通し、学校への復帰を支援する指導教室「せいら」が開設しました。

●設置場所 中央公民館内
●開設日時 月曜日～金曜日
午前10時から午後3時まで

青少年悩みの相談

●問合せ 各小・中学校または市教育委員会学校教育課
(☎232111内線452)

市教育委員会青少年センターは、青少年の悩みを受け付けています。家族のこと、いじめや学校のこと、友人のことなど各種相談に専門指導員が応じます。

狩猟が始まります

11月15日から狩猟が始まります。猟をされる人は銃器やわなの取り扱いに十分注意し、事故の無いようにしてください。また、山に入る人は誤射などを避けるため、目立つ色の服装を心がけましょう。

●問合せ 市農林水産課
(☎232111内線374)

ご相談ください 特設人権相談所

人権、相続、不動産、借地借家、金銭貸借、家庭などの問題について、人権擁護委員や法務局職員が無料で相談に応じます。

●日時 11月8日(水)
午前10時～午後3時

正しく飼いましょう 犬や猫などのペット

犬や猫などのペットは、隣近所に迷惑をかけないように正しく飼いましょう。特に、犬は係留が義務づけられています。ペットの散歩時の糞は、飼い主が適切に処理しましょう。

●犬の登録と変更
4月から犬の登録が生涯登録になりました。新制度での登録

ふれあい健康福祉まつり

「ひろげよう! 人にやさしいまちづくり」

◆日時 11月12日(日)
午前10時～午後3時

◆会場 市民センター

◆内容
●健康生活
いきいき講演会
岸部四郎さん
「一週間泣いて 怒って笑って健康」



●健康チェックコーナー
●ボランティアコーナー
●すくすく赤ちゃんコーナー
●食を考えるコーナー
●在宅老人介護相談コーナーなど
◆問合せ 市保健センター
(☎23916)

宝くじ助成事業で 太鼓などを購入

後に犬が死亡したり、飼い主が変わった場合は、市保健環境課へ連絡し手続きしてください。

●問合せ 市保健環境課
(☎232111内線284)



南波多町まちづくり推進協議会は、自治宝くじ助成を受け、太鼓などを購入しました。今後は地域の伝統芸能や音楽公演などで活用され、文化の向上が図られます。

11月の行事

市民会館 (問合先：市民センター)

- 4日(土) 伊万里市内小学校音楽会 9時 無料
- 5日(日) いまり童謡祭 9時半 無料
- 10日(金) 佐賀県交通安全県民大会 13時半 無料
- 18日(土) 伊万里市内中学校音楽会 9時 無料
- 23日(木) 市文化祭参加チャリティー 日本舞踊公演 12時 2000円
- 25日(土) 佐賀県教育フェスタ 10時 無料
- 12月1日(金) 小中学校芸術劇場 10時 関係者
- 12月2日(土) 教育講演会 講師 押尾川親方 15時 無料

市民センター ☎23911

- 3日(金) 市文化祭 芸能発表会 11時 無料
- 5日(日) 岡部耕大 作 異聞・源平盛衰記 舞台劇「風と牙」 18時半 一般2000円 学生1000円
- 8日(水) 「税を知る週間」特別講演 講師 春風亭小朝 師匠 13時 無料
- 12日(日) 健康いきいき講演会 講師 岸部二郎 氏 11時 無料
- 18日(土) 伊万里吹奏楽団定期演奏会 18時半 無料
- 20日(月) ゆっくりと歩み考える時代について 教育講演会 講師 小宮山量平氏 18時半 500円
- 23日(木) 文化祭参加 万謡会 9時 無料
- 25日(土) 伊万里合唱団定期演奏会 18時半 500円
- 28日(火) 市民センター自主事業 “能” 公演 13時半と18時 前売券一般3500円 学生1000円
- 12月2日(土) チャリティー講演会 講師 富永みさを 氏 13時半 1000円
- 12月3日(日) アルコール中毒者の集い テーマ「今日一日を生きる」 9時半 500円

市民図書館 ☎234646

- 3日(金) 一般映画「ふたり」 11時半 無料
- 一般映画「七人の侍」 17時 無料
- 5日(日) 子ども映画「ピーターラビット」 「マドレーヌといたずらっこ」 14時 無料
- 9日(木) 一般映画「市民ケーン」 14時 無料
- 12日(日) 子ども映画「ディズニー映画」 14時 無料
- 17日(金) 一般映画「スター・ウォーズ」 18時 無料
- 19日(日) 子ども映画「ガンバとカワウソの冒険」 14時 無料
- 26日(日) 子ども映画「ちびまる子ちゃん」 14時 無料

11月の市民相談

会場：市民相談室
時間：10時～15時

無料・秘密厳守です。☎232111(内線226)

- 法律 (木) 2. 16
- 社会保険 (金) 10. 17. 24
- 交通事故 (火) 14. 28
- 行政 (水) 15
- 人権 (火) 7. 21
- 身障者 (月) 27
- 消費生活 (月) 6. 13. 20. 27
- 女性職業 (水) 1. 8. 15. 22. 29
- 心配ごと (木) 2. 9. 16. 30

※住宅相談は、2日と16日の午後1時から4時まで市役所市民ロビーで行います。

番地変更の手続きを

住民登録している宅地の番地が、土地の分筆・合筆、地籍調査などにより変わっている場合は、番地修正の手続きをしてください。

●問合先 市民課窓口係
☎232111内線289

招待高校野球大会

春の選抜高校野球大会の出場権をかけた九州大会出場校を招き、市内の高校を交えて対戦する野球大会を開きます。

- 日時 11月12日(日)
- 会場 国見台野球場
- 対戦カード(開始予定時間)
- ①佐賀商業高校ー長崎県招待高校(9時半)
- ②長崎県高校ー敬徳高校(12時)
- ③佐賀商業高校ー市内高校(14時半)

年末調整 法定調書 説明会

●期日 11月29日(水)

- 時間および対象 午前10時～ 法人徴収義務者 午後2時～ 個人徴収義務者
- 会場 市民センター
- 問合先 伊万里税務署 (☎233147)

中小企業退職金制度

中小企業で退職金制度を設けたい場合は、安全・確実・有利な国の「中退金制度」をご利用になれば、手軽に設けられます。新しくこの中退金制度に加入

家庭用品活用バザー

●日時 11月12日(日) 午前10時～12時

- 会場 敬徳高校体育館
- 会場 敬徳高校体育館 ※売上金の一部は、歳末助け合い運動に役立てられます。
- 問合先 学校法人伊万里学園 敬徳高校 (☎226191)

交通安全県民大会

●日時 11月10日(金) 午後1時半～3時半

- 会場 伊万里市民会館
- 問合先 市総務課 (☎232111内線412)

伊万里吹奏楽団演奏会

●日時 11月18日(土) 午後6時半開演

- 会場 市民センター
- 入場料 無料
- 問合先 伊万里吹奏楽団事務局の宮田さん (☎222862)

ぼしゅう

青少年国際交流研修

- 国際青少年研修協会は、野外活動と国際交流を行う海外派遣事業の参加者を募集しています。
- オーストラリア野外活動
- 期間 12月25日～1月5日
- 費用 35万5000円程度
- ニュージーランド野外活動

下水道技術者 配管工技能者 資格試験

●期日 12月25日～1月4日

- 費用 29万5000円程度
- 対象 小学5年～高校2年生
- 申込期限 11月21日(火)
- 申込・問合先 (財)国際青少年研修協会 (☎03-3359-8421)
- 試験会場 市役所
- 試験期日 12月19日(火)
- 申込期限 11月30日(木)
- 試験期日 12月19日(火)
- 問合先 市下水道課 (☎232111内線325)



今年最初の合戦 (10/22 さのや前)



「キーンエんカ」のヤジ合戦。



合戦場へと向かう出番町の面々。

いまり秋祭りが、10月22日から24日まで市街地で行われました。今年の秋祭りは、最終日が雨にたたられたものの県内外から10万人の人出でにぎわいました。市内各所で勇壮なトントン合戦が繰り広げられたほか、18団体・1100人による「わっしょいパレード」や23団体・1500人による「いまり総踊り」など多彩な催しも行われ、訪れた観客を魅了しました。特に、合戦は初日から気合いの入った見事な喧嘩ぶりを発揮し、最後の決戦となった「川落とし」では、荒神輿と団車が組み合ったまま伊万里川へ入り、近年になくすばらしい合戦で祭りの幕が下りました。




トントン




いまり秋祭り



芸伝
能統



● 特設舞台でテンテントン合戦の前に「伊万里子ども太鼓の会」が力強い「喧嘩太鼓」を披露。

① 「わっしょいパレード」に沈香壺をかたどった創作こみしで参加の大川内保育園児。



セラニーとキャンペーンガールが世界炎博をPR。



① 最後の決戦「川落とし」今年は一足先に引き揚げられた団車の勝ち。



● 雨のためアーケード内で行われた「いまり総踊り」



身近に感じられる伊万里

『喫茶 伊万里』 保坂 夕力子 さん

(北九州市小倉北区真鶴一丁目七の八)

故郷・伊万里から遠く離れた都会などで仕事に頑張っている伊万里市出身者がおられます。また、「伊万里」という語感が好きで、これを店名にされているお店も数多くあります。このコーナーでは、「伊万里」と縁が深いみなさんからのお便りをご紹介します。

伊万里市の皆さん、全国の「伊万里」の皆さん、こんにちは。わたしは北九州市で喫茶店をやっています。

お店の種類や住んでいる所は違っても、同じ伊万里という名前で親しみを感じている今日のごとです。といいますのは、広報伊万里を届けていただいてまもないころは、何となく「伊万里」という名前の店が、ほかにもあるのだなあ」と感じるほどでした。そして

毎月の広報伊万里を読んでいくうちに「全国にある伊万里さんも頑張っているのだなあ」とうれしくなり、また親しみを覚えるようになりました。

当店「伊万里」という名前は、先代の出身地が伊万里でしたので、この名を付けたと聞いております。わたしも陶磁器に少しばかり興味を持っていましたので、そのまま名前を引き継ぎ現在に至っております。

店の前には、国道3号線を隔てて九州歯科大学と付属病院があり、お客様は学生さんと社会人が半々で、毎日楽しく仕事をしています。学生さんと会話を交わすと、夢中になり自分の年齢も忘れてしまいます。

広報が届くたびに、伊万里を身近に感じるようになり、今では観光パンフレットやマップなどを店内に置いてあります。時々伊万里出身の人がパンフレットなどを見て



懐かしいふるさとのお話をしてくれ、わたしも伊万里出身と錯覚しそうになります。また先日、北九州市のまちおこしに活躍されているお客様が、店内に置いてある観光パンフレットや広報を見て「伊万里」というネットワークづくりと、それを生かした全国へのPRにびっくりされました。

このように「伊万里」が取り持つ縁で、いろんな人と出会えることは、うれしいばかりです。

毎月送られてくる広報は、表紙の焼き物が大好きです。表紙を切り取って額に入れ、店内などに飾り伊万里を生かしたいと考えております。

また、来年開催される世界・森の博覧会には、従業員や友人を連れて行きたいと考えておりますし、伊万里へもぜひ訪問したいと思っております。

最後になりますが、伊万里市のご繁栄、ご発展を北九州市から心より祈念し、また応援しております。

今月の表紙

染錦花鳥文透彫鉢(18世紀初 口径19.2cm)
 □縁部が輪繋ぎ形に透かし彫りにされ、見込みにには襷幕・花鳥・流水などの文様が赤や金を用いた染錦手と呼ばれる手法で描かれています。金色や赤色を際立たせる濃紺の染付は、江戸時代元禄期の特徴を良く表しています。ヨーロッパ人が好みそうな意匠で構成された古伊万里の優品です。ドイツのドレスデンにあるツヴィンガー王宮のアウグスト強王の旧蔵品です。

編集室から

実りの秋、勇壮なお祭り「トントン」は、担ぎ手の結束で力強い見事な合戦を繰り返した。「伊万里っ子」の心意気を披露してくれました。

ところで、11月19日は参議院議員佐賀県選出補欠選挙の日。各政党から候補者が出そろい激しい選挙戦が繰り広げられることと思います。目まぐるしく変わる政治や停滞した経済を尻目に、若者を中心に政治離れが進んでいる今日、あなたの一票が将来を大きく左右します。一人ひとりの小さな力が集まれば、大きな力となりますので、棄権せずに投票しましょう。(N)

人のうごき

平成7年10月1日現在

●人口	60,206人	(+ 51)
男	28,476人	(+ 32)
女	31,730人	(+ 19)
●世帯	18,226世帯	(+ 24)
	()	は前月比

広報 伊万里 1995-11

■発行日/平成7年11月1日
 ■発行編集/伊万里市役所秘書課広報係
 ☎(0955) 23-2111
 〒848 佐賀県伊万里市立花台1-1-1
 ■印刷/山口印刷株式会社

左から3番目が保坂さん

